

## 鹿島地区における包括的連携強化に向けた具体的方策の検討開始について

1. 三菱化学株式会社(本社:東京都港区芝五丁目、社長:富澤龍一)、株式会社ジャパンエナジー(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)および鹿島石油株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:瀬野幸一)は、今般、鹿島地区における石油精製事業と石油化学事業にまたがる包括的な連携強化に向けた具体的方策の検討を開始することに合意いたしました。今後、3社は、具体的な実施事項・方法およびその経済性について詳細な検討を行ってまいります。
2. 3社は、これまで鹿島コンビナートの中核企業として、それぞれの事業の特徴を活かしながら、種々の副産物を中心とする留分相互利用等により、同コンビナートの競争力強化のために協力してまいりました。
3. しかしながら、近年、石油精製では、石油製品の需要構造変化への対応やCO<sub>2</sub>対策等の環境対応が、石油化学では、アジアや中東におけるオレフィンセンターの増強計画等への対応が喫緊の課題となっており、鹿島地区の事業所が国際競争の中で勝ち残るためには、3社間の一層高度な連携強化が不可欠となってまいりました。
4. このような背景の下、本年5月以降、3社は、石油精製・石油化学の領域を越えて、原料、主製品を含めた抜本的体質強化の可能性を協議してまいりました。今般、その協議をもとに、さらに具体的な方策の検討を行うべく、フィージビリティ・スタディ(経済性評価詳細検討)に着手することとした次第であります。
5. 具体的には、共同投資も視野に入れつつ、原料の効率的調達・生産を目的とした「原料適正化」と、環境に配慮した石油製品、プロピレン等のオレフィン製品およびベンゼン・パラキシレン等のアロマ製品の効率的増産を目的とした「最適生産」をテーマとして、今後約1年間を目途に詳細な検討を行ってまいります。

### ● 【参考資料】

- ▶ [3社の会社概要および鹿島地区事業所の概要](#)

以上